

ステロイドの怖さを実感され、遠隔治療で
松本医院を受信されているお母様の手記

「唯一、救われたアトピー治療」匿名希望

16 歳

2015 年 11 月 5 日

(お母様による記述)

現在 16 歳の娘が初めて松本医院で治療を受けたのは 3 歳の時でした。生後一ヶ月から重いアトピー症状があり、1 歳頃から近所の小児科で処方されたステロイド軟膏を使い始めました。多少よくなったかと思えば悪化する・・・そんな繰り返しの日々の中、薬はだんだん強いステロイドに変わっていき、量も増えていきました。その状況で、「このままでは一生このステロイド剤に依存してしまうのではないかと心配になり、今思うと無謀なのですが自己流でステロイド離脱にチャレンジしました。高価なサプリメントや高級ハーブのスキンローション、市販の漢方薬なども色々試しました。しかし改善する様子はなく、幼稚園入園の頃、ストレスや新たなアレルゲンなどの影響があったのか、激しい悪化がみられ、やむを得ず「1 日だけ」と、数ヶ月ぶりにステロイド軟膏を塗りました。

久しぶりに使うステロイドの<効き目!>は半端なく、血やリンパ液が滲み、ぐちゅぐちゅだった娘の皮膚は、たった一日ですっかりきれいになったのです。ところが、ホッとする間もなく、そのまま塗らずにいればまた 1 日でひどい状態に逆戻りしました。よく「ひとまずステロイドで最悪の状態を脱してから、少しずつ減薬していく」といった話を耳にしていたのですが、全く嘘だと感じました。

ステロイドの怖さを改めて実感した私は、それまで以上に熱心にアトピー治療について調べました。そこで行き着いたのが松本医院の HP でした。あまりにも革命的な理論が展開されており、とても驚きましたが、娘の症状と照合して考えると妙に納得がいったのです。メールで問い合わせした後、大急ぎで東京から大阪に向かい受診しました。

漢方風呂に入り、薬を塗り、当初は搔いて搔いて搔きまくっていたので本当に心配でしたが、それまでのような皮膚の崩壊は起きず、気持ちいいくらいどんどん皮が剥けて、新しい皮膚が再生していく感じでした。一週間で明らかな

変化・手ごたえを感じ、あれほど苦労したアトピーが約3ヶ月でほぼ治ってしまいました。その後も、環境の変化などで一時的に症状が出ることはありましたが、その都度松本先生の漢方薬で手当てして乗り越えてきました。最後に残ったのが首のアトピーで、今でも症状が出ることがあります。首は、かつて症状が最も重く、最も多くステロイドを塗ってしまった部位でもあります。ステロイドの怖さを改めて感じるばかりです。



治療一週間後

